



# 猛暑のなか 涼を求めて

河西地区と海南・海草地区で平和夏まつり



## 河西地区…400人がつどう

7/31(土)17:00~20:00に河西診療所に於いて第19回河西地区平和夏まつりを行いました。当日は天気にも恵まれ約400名の方が来場されました。屋外駐車場では、職員と職員家族によるよさこい踊り(やっば紀州)でのオープニング、予定外のアンコールが出るほど会場は盛り上がりしました。昨年披露できなかった井戸所長率いる職員



バンドの演奏や民謡の会を中心に盆踊りも行われました。模擬店ではおでん、焼きそば、フランクフルト、から揚げ、かき氷、フルーツポンチ、飲み物販売とどのお店もほぼ完売。子供対象にスーパーボールすくい、ヨーヨー釣りに加え、デイサービス室で森教二さんのマジックショーが2回に分けて行われ、たくさんのこどもたちを楽しませてくれました。最後は恒例のビンゴゲーム、こどもがもらった景品のお米を見てお母さんが大喜びするなど、楽しく幕を閉じました。

## 海南海草地区…700人がつどう

海南・海草では7/31(土)総合介護支援センターげんきで第2回目の平和夏まつりを開催しました。実行委員会を重ね、チケット2000枚近くを地域や各団体などに広げました。午後3時30分には集まってきた子供たちを集め竹細工工作コーナーをスタート。たくさんの子供たちが、竹トンボ作りや竹馬に夢中になりました。その後、平和にまつわるアニメビデオの上映をし、新企画の紙芝居を行いました。紙芝居は10円で飴玉を買ってもらい、昭和初期の光景を再現しました。駐車場では海南元気市の生産者や、障害者作業所のあすなろ、カタツムリのパン屋さんデイサービスの利用者家族、民主団体など11店舗の屋台が店を連れ、大賑わいでした。



中央の舞台では5時20分から、民商

太鼓が鳴り響き、盛大にステージ企画がスタートしました。支部長の挨拶のあと、フラダンスや、たんぼぼの会の太鼓、「みんなであたおう」のコーナーでは、歌集を配って大人も子供たちもマイクを持って大きな声で歌ってくれました。ステージ後半では、海南のソーランの会「炎」と「翔」による南中ソーランも元気に踊っていただきました。最後はお客さんも参加しての「盆踊り」で夏まつりは無事終了しました。また1歩、地域にうちとけた、夏まつりとなりました。今年は昨年と同様700人がつどいました。

## 新日本婦人の会伊都支部でワクチン学習会

生協病院小児科 佐藤洋一医師が講演

7/31(土)橋本市産業文化会館で、「小児科医を囲んで-学んで予防ワクチン接種と検診を」の学習会が



婦人の会伊都支部の主催で開かれました。生協病院小児科の佐藤医師が講師として招かれ、最近のワクチン事情について話しました。特に、細菌性髄膜炎の予防効果があるヒブワクチンや肺炎球菌ワクチン、子宮頸がんワクチンについて詳しく話しました。佐藤医師は、「感染症は予防が大切で、ワクチンがもっとも安全な予防方法であり、自然にかかったほうがいいという考えはすすめられない。」と述べました。また、ワクチンが高額で、国や自治体の公費負担や補助が必要であり、諸外国の事情などを話しながら、遅れている日本の対応を運動の力で前進させようと訴えました。参加者からは、「ワクチン接種しての副反応は」「子宮頸がんワクチンはどのように受けたらいいのかわからないのか」などの質問が出されました。今回は、14名の参加で、「佐藤先生の話はたいへんわかりやすかった。ぜひ、もっと多くの人に聞いてほしい」などの感想が寄せられました。当日、医療生協に1名加入してくれました。

## 高校生1日ナース体験にいらっしょーい

夏休みを利用して、生協病院で高校生1日看護体験がはじまっています。県下の高校10校から約40人が看護の仕事を経験しています。患者さんとふれあったり、看護の仕事を見る中で、自分の進路を考える機会にしています。「看護師になって、ぜひ生協病院に就職してね」と、未来の白衣の天使にエールを送りました。(生協本部にて)



## みんなであたら 紀州おどり

今年は36番目 19時5分スタート

各地区からの参加者を強めましょう!! 紀州おどりは8月7日(土)で当医療生協は 36番目 19時05分スタートです。

